

経営協議会学外委員からの主な意見等への対応状況（平成20年度）

経営協議会	学外委員からの主な意見等	意見等への対応状況
<p>第14回経営協議会 （平成19年6月18日開催）</p>	<p>平成21年度概算要求に関連し、経営協議会の学外委員からの「大学としての特徴を鮮明にする取組の概算要求をすべき」との指摘。</p>	<p>業務統括会議等において検討を重ね、「古代史・環境史プロテオミクス研究創成事業」というテーマで平成21年度の概算要求を行ったところ、特別教育研究経費の研究推進として採択された。</p>
<p>第17回経営協議会 （平成20年3月19日開催）</p>	<p>平成20年度予算配分(案)の審議に係わり、「学長裁量経費の使途及び競争的資金の応募状況等を踏まえ、大学構成員がより効果的に研究活動が行える方途」についての意見。</p>	<p>業務統括会議での検討を経て、平成20年度において、教育研究環境改革のため、「女性人材育成教育研究環境改革推進経費」として、学内公募し、約1億5千万円で、中型実験機器19件を措置した。</p>
<p>第18回経営協議会 （平成20年6月25日開催）</p>	<p>平成19年度における業務の実績及び中期目標期間に係る業務の実績報告の審議に係わり、「アジア諸国と連携・協力した女子教育の推進等の達成に向けた国際協力をはじめとする様々な取組」についての意見。</p>	<p>業務統括会議での検討を経て、国際交流センター長に各種調査の実施依頼をした。そして、平成21年1月21日開催の教育研究評議会において、同センター長からの報告を踏まえ「国際交流の現状と課題」という観点で意見交換を行い、今後も積極的に国際交流を推進していくこととした。</p> <p>なお、JICA 青年研修事業アフガニスタン女子教育研修(21.1.13～21.1.31)として、本学では、1月22日から24日まで13名を受入れて研修を実施した。</p>

<p>第 19 回経営協議会 (平成 20 年 9 月 30 日開催)</p>	<p>繰越承認を受けた平成 18 事業年度剰余金(目的積立金)の用途計画の審議に係わり、経費削減に伴う学内の教育研究用機器整備計画に関して、使用目的の正当性を十分検討するとともに共同利用の推進を目指すべきとの指摘。</p>	<p>学内からの要求計画について、業務統括会議において要求機器の必要性等の精査を行うとともに、共同利用が可能な機器を重点的に整備するなど、学外委員の意見を活用した整備を行った。</p>
<p>第 20 回経営協議会 (平成 20 年 11 月 25 日開催)</p>	<p>第二期中期目標・中期計画についての審議に係わり、国際交流における留学生受入れについては、質の確保・向上に主眼を置き、交流協定大学等との交流の中で優れた留学生を戦略的に獲得するなどの「濃縮型」を目指すべきであるとの指摘。</p>	<p>大学院研究留学生を中心に受入れ、育成してきた実績を踏まえ、第二期中期目標・計画素案の策定にあたっては、この方針を堅持するとともに、適切な入試を実施して質の確保を図ることや、交流協定大学からの「留学生特待生制度」を活用した優秀な留学生を受け入れるなど、大学院を中心として質の高い留学生の獲得を目指す方向性を方針とすることを確認した。</p>